



平成 28 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 曙ブレーキ工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 信元 久隆
 (コード：7238、東証第一部)
 問合せ先 経理部長代行 荘原 健
 (TEL. 048-560-1501)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）期間及び通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想修正の内容

平成29年3月期第2四半期（累計） 連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想（A）	136,000	△1,400	△2,300	△2,400	△18 円 03 銭
今回修正予想（B）	133,500	700	△1,500	△2,900	△21 円 77 銭
増 減 額（B－A）	△2,500	2,100	800	△500	—
増 減 率（％）	△1.8	—	—	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	141,605	△450	△1,428	△5,774	△43 円 41 銭

平成29年3月期通期 連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	271,300	1,600	100	200	1 円 50 銭
今回修正予想（B）	257,500	4,000	400	200	1 円 50 銭
増 減 額（B－A）	△13,800	2,400	300	—	—
増 減 率（％）	△5.1	150.0	300.0	—	—
(参考) 前期実績 (平成28年3月期)	281,341	△3,761	△6,815	△19,462	△146 円 31 銭

2. 修正の主な理由

(1) 平成29年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正

売上高は、円高による為替換算の影響（約28億円）により期初に発表いたしました予想値に対し若干下回る見込みですが、営業損益は、大幅に改善する見込みとなりました。

米国事業の早期立て直しに向けた4つの施策（1. 組織・管理体制の抜本的な改革 2. 生産負荷低減による生産性改善 3. 生産能力の増強 4. 販売価格と仕入れ価格の適正化推進）による業績改善効果が期初計画を上回り、同事業の営業損失が39億円から29億円となり10億円の改善見通しであること、日本国内において生産・調達の合理化および諸経費などのコスト削減効果が計画以上に進んだことなどが、主な要因です。

経常損益は、為替相場変動による為替差損の計上などを見込み、前回予想の△23億円から8億円改善し、△15億円となる見通しです。四半期純損益は、計画しておりました資産売却を見送ったことから△29億円となる見通しです。

(2) 平成29年3月期 通期連結業績予想数値の修正

下期の売上高は、想定為替レートの変更により、前回予想を下回る見通しです。それに伴い、通期売上高も減少する見込みです。営業利益は、上期の状況を踏まえ、日本国内や北米を中心に前回予想を上回る見込みです。なお、経常利益は、上期の為替差損の影響を受け4億円となる見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当期に予定していた資産売却の内容を見直すため予想値を据え置き、2億円となる見込みです。

※ 通期連結業績予想の期間は

北米・中国・タイ・インドネシア：平成28年1月～平成28年12月

日本・欧州

：平成28年4月～平成29年3月

となります。

為替レート（前提）	USD	EUR
前回予想	115円	125円
今回予想	107円	115円

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上